

授業科目                      看護理論

【担当教員名】  佐藤 信枝		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 看護理論の開発過程を知り看護実践を行う上での有用な看護理論を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理論とは何かを述べることができる。</li> <li>2. 看護理論を専門職としての看護になぜ必要かを述べるができる。</li> <li>3. 看護理論家の名前と理論の特徴を5つ以上のべることができる。</li> <li>4. 興味・関心のある理論を選び解説することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	看護理論とは何か、看護理論の歴史			1.2	講義、担当：佐藤 信枝
2	看護理論家の業績：ナイチンゲール、ヘンダーソン			1.2	講義、担当：佐藤 信枝
3	看護理論（ナイチンゲール・ヘンダーソン）グループ学習			2.4	GW、担当：佐藤 信枝
4	ナイチンゲールの看護理論			2.4	発表、不足箇所の講義、担当：佐藤 信枝
5	ヘンダーソンの看護理論			2.4	発表、不足箇所の講義、担当：佐藤 信枝
6	看護理論家の概説			1～4	講義、担当：佐藤 信枝
7	選んだ理論を概説し発表する			1～4	個人発表、担当：佐藤 信枝
8	選んだ理論を概説し発表する			1～4	個人発表、担当：佐藤 信枝
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		看護理論	筒井真優美	南江堂	2008・2,200円
参考書		看護理論家とその業績 第3版	アン・マリナー・トメイ 他、都留 伸子監訳	医学書院	2004・6,400円
その他の資料		ビデオ サークルオブノレッジⅠⅡ			
【評価方法】 討議、発表の参加度と課題（30%程度） レポート（70%程度）			【履修上の留意点】 興味・関心のある理論家を調べ探求することから始まる。		